

改善計画書(兼改善状況確認書)

優先順位	改善項目		改善目標	改善に向けた計画内容	期間	評価(年 月 日現在)
	自己	外部				
1	14	7	・事業所でのご利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、物品の状態など、ご家族に合わせた報告をする。	・家族会で今回の評価を説明し、ご家族の知りたい情報を来所時や個別に問うていく。 ・家族向けの手紙に、ご利用者の写真を同封して、事業所でどのように暮されているのか、詳細を伝えていく。 ・衣類や布団など、持ってきてほしいものは、電話にて伝え、その際に、物品の使い方やご利用者の状態など伝えるようにする。	年間通して	
2	15	8	・ご家族の意見や不満、苦情を表せる機会をご家族個別に作っていく。	・来所の少ない方へは、手紙だけでなく電話をして、ご利用者の状況や気になるところがないか聞き取っていく。 ・年1回の家族アンケートの内容を絞り込み、意見を引き出していく。	年間通して	
3	37	16	・介護計画の見直しを家族と共に行い、記録に残していく。	・見直し月には、ご家族と共に、センター方式や立案シートを活用し、取り組みの成果や課題、ご家族からみた気づきを確認し、記録に残していく。	年間通して	
4	5	3	・地域とも日常的に付き合っていけるよう交流に努める。	・地域向け新聞を4ヶ月に1回発行する。また、公民館や地域住民にポスティングしホームの取り組みやご利用者の生活の様子、介護のコツなどを伝えていく。	年間通して	
5	7	4	・外部評価後の改善計画をスタッフ全員で取り組む。	・スタッフに評価委員を設けて、ご利用者のケアに関わる部分(自己評価 50～87)の改善計画をたて、現場で改善できるようフォローしていく。	7ヶ月	
6	47	19	・重度化した場合や終末期のあり方についての方針をスタッフと確認する。	・方針をスタッフと確認しつつ、現場で利用者個別に情報の収集、支援を行っていく。	3ヶ月	
7	71	27	・避難訓練を隣の小規模とも共同し、ご利用者の避難方法をスタッフが身につけ、地域の人々の協力を得られるように働きかける。	・マニュアルを使えるように、避難訓練時に通報訓練を入れ込む。 ・年に1回は、地域の方と避難訓練を行い、役割の確認など行う。	年間通して	